



第4章 地域別振興計画

まちでは、町民の主な日常生活圏となっている、町内6地域に「地域振興協議会」を立ち上げ、地域住民との“協働”によるまちづくりを推進しており、その必要性について地域住民の認識も高まっています。

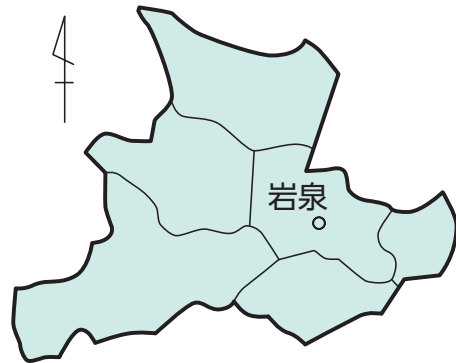
地域別振興計画では、各地域の実情と特色を踏まえ、身の丈に合った「自分たちができる、自分たちだからできる」持続可能な地域社会の創造を目指し、人口減少社会の中でも、笑顔と元気あふれる地域づくりを進めます。

1. 岩泉地域振興計画

●地域概要

区 分	岩泉地区	全町に占める割合 (全町)
面 積	194.97 km ²	19.64% (992.92 km ²)
平成 21 年人口	4,685 人	40.87% (11,462 人)
平成 26 年人口	4,374 人	42.42% (10,312 人)
令和元年人口	4,050 人	43.95% (9,216 人)
令和 4 年人口	3,745 人	44.81% (8,357 人)
対平成 21 年 減少率	△ 20.06%	(△ 27.09%)

※各年人口は、10月1日現在の住民基本台帳人口



●現状と課題

岩泉地域は、町の中心部に位置し、行政、事業所、商店街、住宅が集中し、教育、観光、医療機関などを有し、町の中核的役割を果たしています。

中でも観光産業の中心である「龍泉洞」は、町の大事な観光資源になっていますが、入洞者は全盛期の半分以下に落ち込んでいるため、地域産業に与える影響は大きなものがあります。

近年、地域産業の低迷や人口減少、後継者不足、大型店舗の進出などから、地元商店街での購買力の低下が著しく、空き店舗が増えて活気が無くなっており、産業の振興と雇用の確保、イベント開催や空き店舗活用による商店街の振興が必要です。

また、農林業の低迷により、年々増えている休耕田・休耕地の利活用調査研究を行い、新たな特産品開発や比較的簡単に作ることができるソバなどの栽培と販売に取り組む必要があります。

平成 28 年台風第 10 号豪雨災害では、多くの家屋や施設が被災しましたが、近年、頻繁に発生する大災害に備え、自主防災組織の充実を図り、大切な生命を守るため、防災訓練の実施や防災計画の見直しを行いながら、防災体制の強化に努める必要があります。

●地域の目指す将来像（地区の目標）

今後も、人口減少と少子高齢化や産業の低迷と社会資源の衰退などが、引き続き懸念されることから、「地域の現状課題としっかり向き合い」地域のあるべき姿の夢を語りながら、地域の人材と資源を生かし、住民と行政が連携し、協働の精神を高め、「みんなが輝いて地域が輝く」（スローガン）地域づくりを目指します。

● 施策の基本方向

- ▶ 1》安全で安心な災害に強い地域づくり
- ▶ 2》支え合い健康でいきいき暮らせる地域づくり
- ▶ 3》歴史ある文化と教育がいきづく地域づくり
- ▶ 4》産業間連携による活力ある地域づくり
- ▶ 5》自然環境が豊かで心いやされる地域づくり
- ▶ 6》住民主体で活発に活動する地域づくり

● 具体化するための取組

1 安全で安心な災害に強い地域づくり

- ・ 自主防災組織を核として、防災計画の見直しを行いながら防災体制の強化に努めます。
- ・ 防犯灯の整備と維持管理に努めるとともに、振り込め詐欺防止などの啓発活動を推進します。
- ・ 雪捨て場の確保支援や高齢者の除雪支援を行います。
- ・ 道路交通網や交通安全施設整備の要望を行います。

2 支え合い健康でいきいき暮らせる地域づくり

- ・ 軽スポーツ大会等開催、各種健康づくり・介護予防教室等により健康増進に努めます。
- ・ 子育てを地域でサポートするシステムづくりの調査研究と高齢者見守り活動を推進します。
- ・ 若者交流活動イベント等を支援します。

3 歴史ある文化と教育がいきづく地域づくり

- ・ 歴史文化等地域資源活用促進のため、「わがまち見つけ隊」活動を推進します。
- ・ 食の文化祭や世代間交流イベント等を開催するとともに、歴史資料収集と活用研究に取り組みます。
- ・ 地域の特性を生かした学習機会の充実、地区集会施設など生涯学習施設の整備・充実に取り組みます。

4 産業間連携による活力ある地域づくり

- ・ 商店街の活性化イベントや盆踊り大会等イベントを支援します。
- ・ 独自性の創出、宝探し、魅力づくりとして、案内看板の整備や清水川物語事業を推進します。
- ・ ソバ栽培等への支援や休耕地等の利活用調査研究を行い、遊休地等の利活用に取り組みます。
- ・ 空き家、空き店舗の利活用を推進します。

5 自然環境が豊かで心いやされる地域づくり

- ・河川・道路清掃活動や宇霊羅山登山道の整備を実施するとともに、河川清流化に取り組みます。
- ・花いっぱい運動を実施し、地域環境美化運動を推進します。
- ・ゴミの減量化を図るため、資源集団回収や不法投棄対策として、監視体制の強化に努めます。
- ・ホテル観察会等の自然観察会を開催し、自然環境保全啓発活動を推進します。

6 住民主体で活発に活動する地域づくり

- ・新年会や岩泉を語る会等を開催し、地域住民の連携と交流を図ります。
- ・各自治会等の連携強化を図り、自治会活動の活性化を推進します。
- ・各自治会等の要望事項等への支援を行います。

■取組に当たっての役割分担

協議会	協働
① 地域振興計画の策定管理	① 地域振興協議会の運営、事務局体制の強化
② 各種要望の調査研究	② 自主防災訓練の実施、防災計画の見直し
③ 協議会だよりの発行	③ 防犯・防災施設の整備事業
④ 若者交流活動支援事業	④ 除雪対策支援事業
⑤ 歴史・文化等の地域資源活用促進事業	⑤ 道路・交通網整備促進事業
⑥ 地域の歴史・文化伝承事業	⑥ 町民運動会等開催事業
⑦ 世代間交流の推進事業	⑦ 健康づくり推進事業
⑧ 「清水川物語」推進事業	⑧ 子育て支援環境整備事業
⑨ 遊休地の利活用調査研究	⑨ 高齢者見守り活動支援事業
⑩ 河川等環境整備事業	⑩ 地区集会施設等整備支援事業
⑪ 自然観察会事業	⑪ 商店街・自治会イベント支援事業
⑫ 新年会開催事業	⑫ 空き家・空き店舗等の活用研究事業
⑬ 情報交換会開催事業	⑬ 花いっぱい運動事業
⑭ 自治会等要望事項等支援事業	⑭ ゴミの減量、不法投棄対策事業
	⑮ コミュニティ活性化推進事業

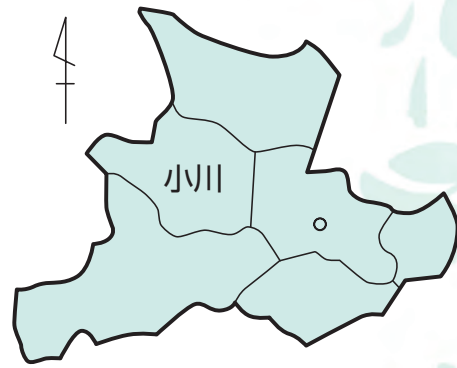


2. 小川地域振興計画

●地域概要

区 分	小川地区	全町に占める割合 (全町)
面 積	172.50 km ²	17.37% (992.92 km ²)
平成 21 年人口	2,661 人	23.22% (11,462 人)
平成 26 年人口	2,316 人	22.46% (10,312 人)
令和元年人口	1,978 人	21.46% (9,216 人)
令和 4 年人口	1,749 人	20.93% (8,357 人)
対平成 21 年 減少率	△ 34.27%	(△ 27.09%)

※各年人口は、10月1日現在の住民基本台帳人口



●現状と課題

小川地域は、町の西部に位置し、古くは酪農や鉱山で栄え、現在は酪農や畑ワサビ栽培を中心とした農業地域であるとともに、建設業や誘致企業、菌床シイタケ生産施設が立地し、地域の雇用を創出しています。

しかしながら、依然として就業率は低迷していることから、若者の定住化の推進と地域の特性や特産を生かした産業振興を推し進め、雇用の確保と地域経済の活性化を図る必要があります。

また、少子高齢化や過疎化の進行により、地域づくり活動の中心的役割を担う自治会や町内会などの地域コミュニティ組織は、役員等の後継者不足が深刻化し、弱体化の傾向が見られます。

さらには、独り暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加傾向にあり、安全・安心な日常生活を送ることに支障をきたす人に対する支援が求められています。

今後においても、安全・安心な暮らしやすい生活環境づくりに向けて、社会インフラ等の整備や、環境保全、健康推進、福祉、防犯、防災等の施策の推進と、地域住民の意識の高揚を図りながら、ハードとソフト事業の両輪のもとに、行政、地域、住民が一丸となって暮らしやすい生活環境づくりに努めていく必要があります。

●地域の目指す将来像（地区の目標）

豊かな自然環境の体験や活用、また、文化・風習・伝統を通じた世代間交流の取組のもとに、自然保護思想の高揚や郷土愛の醸成を図り、地域住民が自らの意志や発想で、地域の安全・安心に向けた取組や、地域行事・イベントなどの積極的な企画、運営するなど、高齢者から子どもたちまでが共に支えあい、協力しながら、生涯にわたって夢を持ち、笑顔で安心して暮らせる地域

づくりを目指します。

●施策の基本方向

- ▶ 1》地域の資源を生かした地域経済の活性化
- ▶ 2》美しい環境の保全と地域づくり
- ▶ 3》安全で安心な生活環境づくり
- ▶ 4》地域の健康、福祉、教育の充実
- ▶ 5》歴史、文化の香る地域づくり
- ▶ 6》地域コミュニティの醸成
- ▶ 7》防災体制の充実強化

●具体化するための取組

1 地域の資源を生かした地域経済の活性化

- ・こがわ産直市やこがわ炭鉱ホルモンまつりなどのイベントにおいて地域の特産や名産を広くPRするとともに、イベント等を通じた町内外とのさらなる交流の推進を図りながら、地域産物の販売拡大によって地域経済の活性化を推進します。
- ・自治会単位の枠を超えた旧学区単位や複数の自治会等が合同で行うボランティア活動、健康推進、生活安全に資する活動など、地区イベント等に対する助成・支援を行います。

2 美しい環境の保全と地域づくり

- ・地域の美しい自然環境保全を目的として、穴目ヶ岳登山道の環境整備を行います。
- ・子ども会などと連携し、リサイクル事業を推進します。
- ・浄化槽の普及に努め、家庭からの雑排水を浄化するよう河川清流化に取り組みます。
- ・花いっぱい運動や河川・道路清掃を実施し、地域環境美化運動を推進します。

3 安全で安心な生活環境づくり

- ・道路改良、バスダイヤなどの要望活動を通じてインフラの整備を推進します。
- ・有事の際、避難所となる地区公民館に停電時の情報通信手段の整備を推進します。
- ・コミュニティタクシーの運行支援など高齢者等交通弱者の支援事業を行います。
- ・AEDを地区公民館に設置し、安心した生活環境の向上に努めます。
- ・住宅火災報知器の設置推進により、安全な住環境の確保に向けた支援を行います。

4 地域の健康、福祉、教育の充実

- ・住民健診の受診率向上を図ります。
- ・ゲートボールを通じて高齢者の健康増進を図ります。
- ・健康増進のため、ウォーキング運動の推奨及びウォーキングコースの設定を行います。
- ・健康増進、地区コミュニティ醸成のため、地区民運動会の開催を支援します。
- ・一人暮らし高齢者等の見守り活動を支援します。
- ・地域・学校との連携を強化し、子どもたちの教育環境の充実を推進します。

5 歴史、文化の香る地域づくり

- ・図書館分室の利用啓発を行い、読書活動を推進します。
- ・念仏剣舞など郷土芸能の保存活動を支援します。
- ・地域内の神社の由来や名所等を調査し、地域住民や観光客への案内板を設置し、郷土愛の醸成と保存伝承活動の推進を図ります。

6 地域コミュニティの醸成

- ・町内外との交流イベント等の地域コミュニティ活動を支援するとともに、活動の活性化を図ります。
- ・地域住民の憩いの場として、松山公園の利活用を推進します。
- ・地域に掲示板を設置し、イベントなどの情報周知や交流を図ります。
- ・地区新年交賀会を開催し、交流を図ります。
- ・地域のシンボリック的存在である穴目ヶ岳への登山事業により交流を深めます。

7 防災体制の充実強化

- ・自治会を単位とする防災活動の支援を推進するとともに、小川地区自主防災計画等について、住民への周知等を図ります。
- ・自主防災組織、地元消防団、防火クラブなど、関係者が一体となった自主防災訓練を実施します。
- ・災害時には貴重な情報源となるラジオ放送の電波難聴地域解消のため、調査・研究と改善要望に取り組みます。
- ・防災士の育成支援に努め、各地域の防災リーダーの確保を推進します。

■取組に当たっての役割分担

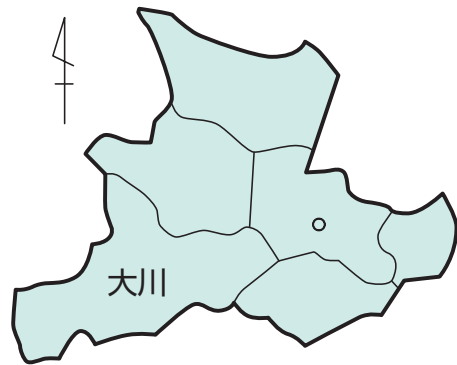
協議会	協働
① 振興計画策定管理 ② 要望、調査研究事業 ③ リサイクル推進事業 ④ 河川清流化推進事業 ⑤ 道路、交通体系などの整備要望活動 ⑥ 読書活動推進事業 ⑦ 新年交賀会開催事業 ⑧ 住民健診の受診推進 ⑨ 高齢者健康推進事業 ⑩ 高齢者交通確保対策事業 ⑪ 火災報知器設置・維持管理推進事業 ⑫ 学校支援事業 ⑬ 情報提供事業（振興協議会だよりの発行） ⑭ 歳末たすけあい演芸会支援 ⑮ 地域神社由來說明板設置事業	① 地域振興協議会の運営事業地域活動 ② 集落活動支援事業 ③ 花いっぱい運動推進事業 ④ 郷土芸能保存活動支援 ⑤ コミュニティ活動活性化事業 ⑥ 地域運動会支援事業 ⑦ 松山公園環境整備推進事業 ⑧ こがわ産直市及び炭鉱ホルモンまつりの開催 ⑨ ラジオ難聴地域解消の要望活動 ⑩ AED 設置管理事業 ⑪ 掲示板設置事業 ⑫ 穴目ヶ岳整備事業 ⑬ 防災士の育成支援 ⑭ 避難所等資器材、物資整備管理

3. 大川地域振興計画

●地域概要

区 分	大川地区	全町に占める割合 (全町)
面 積	289.76 km ²	29.18% (992.92 km ²)
平成 21 年人口	1,179 人	10.29% (11,462 人)
平成 26 年人口	1,026 人	9.95% (10,312 人)
令和元年人口	869 人	9.43% (9,216 人)
令和 4 年人口	766 人	9.17% (8,357 人)
対平成 21 年 減少率	△ 35.03%	(△ 27.09%)

※各年人口は、10月1日現在の住民基本台帳人口



●現状と課題

大川地域は、大川沿いに東西 30 キロメートルの深い谷間に細長く集落が点在し、耕作地は地域全体面積の 2% に満たない不利な条件にあり、山間地を活用した日本短角牛の繁殖・肥育や林業が盛んな地域です。

地域内産業が低迷していることから、木材をはじめ山菜やキノコなど森林資源に徹底的に拘り、それら資源を活用した地区ならではの事業を展開し、地産外商の推進や地域内外との交流促進による地域の産業振興と地域の活性化を図る必要があります。

また、道路整備要望活動と災害に強い生活基盤づくりを推進するとともに、人づくり・組織づくりを通じて、子育て・高齢者福祉と教育文化の支援を行うことが大切です。

●地域の目指す将来像（地区の目標）

豊かな自然環境や森林資源等による地産外商の推進のほか、里山や川、地域の歴史・食文化を生かした観光振興による、生き生きとした地域活動が展開される里づくりを目指します。

●施策の基本方向

- ▶ 1》森林資源を生かした活力ある産業の地域
- ▶ 2》誰もが住みたくなる環境の地域
- ▶ 3》子どもからお年寄りまで健康な地域
- ▶ 4》安心で安全な地域
- ▶ 5》香り高い文化と教育の地域

▶ 6》各種団体が活発に活動する地域

●具体化するための取組

1 森林資源を生かした活力ある産業の地域

- ・森林資源等を生かした地産外商を推進します。
- ・里山や川、地域の歴史・食文化を生かした観光振興を図ります。
- ・大川七滝周辺の環境整備に取り組み、観光人口や交流人口の拡大を図ります。
- ・地域特性を生かしたイベントを開催します。

2 誰もが住みたくなる環境の地域

- ・道路改良などの整備要望を行い、住みよい環境づくりに取り組みます。
- ・交通弱者の足を守るため、コミュニティタクシー運行事業を促進します。
- ・各地区でクリーン作戦を実施します。

3 子どもからお年寄りまで健康な地域

- ・健康増進等のため、地区民運動会開催への支援を行います。
- ・老人クラブ活動への支援など高齢者生きがい対策を推進します。
- ・高齢者の個人番号カード作成への支援を行います。
- ・地域ぐるみで子育てを支援します。

4 安心で安全な地域

- ・自主防災組織の育成・強化を図り、災害時の支援体制づくりを推進します。
- ・自治会ごとに防災マップの作成・見直しを随時行います。
- ・地域ぐるみで防犯対策を推進します。

5 香り高い教育と文化の地域

- ・学校活動への支援を行います。
- ・郷土芸能の伝承活動を支援します。
- ・歳末助け合い芸能祭や生涯学習活動への支援を行います。

6 各種団体が活発に活動する地域

- ・自治会、各種団体などの活動の支援と連携を強化します。
- ・各種団体の交流の機会を提供します。
- ・結婚対策や地域内外との交流を促進するため、「元気村おおかわ推進事業」を推進します。

■取組に当たっての役割分担

協議会	協働
<ul style="list-style-type: none"> ① 各種要望項目の調査研究事業 ② 環境美化推進事業 ③ 個人番号カード作成支援事業 ④ 子育て支援事業 ⑤ 防災マップ作成事業 ⑥ 地域防犯活動事業 ⑦ 学校支援事業 ⑧ 大川地区郷土芸能伝承事業 ⑨ 福祉活動支援事業 ⑩ 生涯学習活動支援事業 ⑪ 新年交賀会開催事業 ⑫ 情報提供促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域振興協議会の運営事業 ② 地域振興計画策定・見直し事業 ③ 大自然ときこりの里おおかわ推進事業（産業振興部門） ④ 大自然ときこりの里おおかわ推進事業（観光振興部門） ⑤ 大川地区まつり推進事業 ⑥ 道路整備促進事業 ⑦ 花いっぱい運動事業 ⑧ コミタク運行事業 ⑨ 地区民運動会開催事業 ⑩ 老人クラブ支援事業 ⑪ 災害時支援体制作り事業 ⑫ コミュニティ活動支援事業 ⑬ 元気村おおかわ推進事業

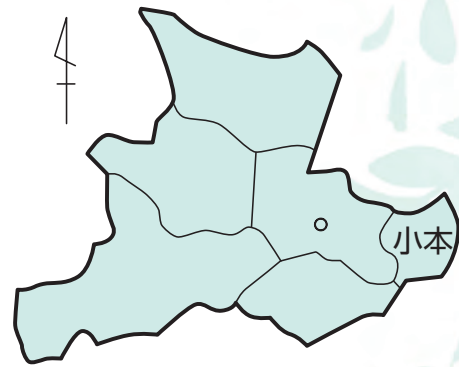


4. 小本地域振興計画

●地域概要

区 分	小本地区	全町に占める割合 (全町)
面 積	49.14 km ²	4.95% (992.92 km ²)
平成 21 年人口	1,912 人	16.68% (11,462 人)
平成 26 年人口	1,717 人	16.65% (10,312 人)
令和元年人口	1,591 人	17.26% (9,216 人)
令和 4 年人口	1,477 人	17.67% (8,357 人)
対平成 21 年 減少率	△ 22.75%	(△ 27.09%)

※各年人口は、10月1日現在の住民基本台帳人口



●現状と課題

小本地区は、町の東部に位置し、唯一海岸に接しています。津波、洪水や「やませ」といった地理的条件から自然災害に見舞われる宿命を背負っており、災害から住民の生命財産を守るため、災害に強いまちづくり人づくりに努めていく必要があります。

地域内の産業は、沿岸漁業と酪農・水田を中心とした農業が盛んなうえ、大規模な誘致企業が4社立地していますが、地域内全体の産業は震災等の影響もあって低迷しており、引き続き「小本まるごと新鮮市場推進事業」（農産物等販売推進部門・観光部門）などに取り組み、横断的な産業の振興を図る必要があります。また、度重なる災害からの真の復興のため、産業や福祉、教育などあらゆる分野の環境を整えていく必要があり、災害公営住宅などハード面の整備が完了したことによって、地域コミュニティの形成・維持を図ることが重要です。

さらに、東日本大震災や台風災害を教訓にした、災害時における地域内防災支援体制を確立することが大切です。

●地域の目指す将来像（地区の目標）

産業振興を図り地域を活性化するため、復興支援事業の展開や後継者育成、少子高齢化対策などを行い、真の復興に向け地域内環境を整え、「結い」が輝きを持ち、伝統がにぎわうまち小本”を目指します。

●施策の基本方向

- ▶ 1) 自然環境に恵まれた豊かな資源を生かした産業づくり

- ▶ 2) だれもが健康で安心して暮らせる生活環境の地域づくり
- ▶ 3) 自主・自立と連帯意識に支えられた協働による地域づくり

●具体化するための取組

1 自然環境に恵まれた豊かな資源を生かした産業づくり

- ・「七頭舞の里 おもと」のブランド化を図り、農林水産物など地域産業を振興するため、インターネットを活用した「小本まると新鮮市場推進事業」（農林水産物販売促進部門）に取り組めます。
- ・御殿崎や小本川などの名所や鮭まつりなどイベント開催、各種体験を組み合わせた観光メニューを創出し、三陸鉄道などと連携した観光振興を図るため、「小本まると新鮮市場推進事業」（観光部門）に取り組めます。
- ・地域の復興に向け、小本地域の自治会等が実施する活動に対して支援します。

2 だれもが健康で安心して暮らせる生活環境の地域づくり

- ・花いっぱい運動など環境美化に取り組めます。
- ・子育て支援活動に取り組めます。
- ・学校やPTAなどと連携し、学校を支援します。
- ・高齢者生きがい対策のため、老人クラブなどへ支援します。
- ・郷土芸能の発表の場を提供するとともに、生涯学習活動を支援します。
- ・警察や地域の関係者などとの連携を強化し、地域内の犯罪防止対策に取り組めます。

3 自主・自立と連帯意識に支えられた協働による地域づくり

- ・自主防災組織など災害時の支援体制づくりの強化に努めます。
- ・自治会活動の活性化支援に取り組めます。
- ・地域コミュニティの形成・維持を図るため、未来のリーダーを担う人材育成に努めます。
- ・協議会だより発行、ホームページ開設による情報提供を行い、各種団体の連携強化、交流機会の提供などを推進します。

■取組に当たっての役割分担

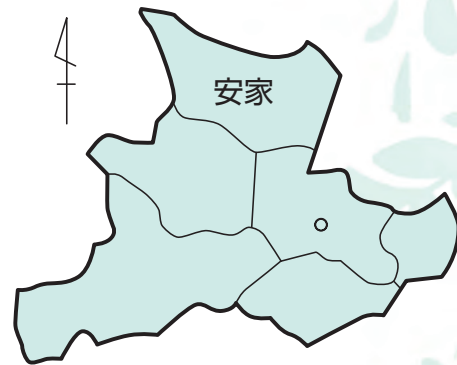
協議会	協 働
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域振興計画の見直しに関する事業 ② 各種要望項目の調査研究事業 ③ 復興支援事業 ④ 景観整備事業 ⑤ リサイクル運動推進事業 ⑥ 三鉄などの交通機関利用促進事業 ⑦ 子育て支援事業 ⑧ 健康推進事業 ⑨ 地域犯罪防止活動事業 ⑩ 生涯学習活動支援事業 ⑪ 新年会開催事業 ⑫ 相互情報提供促進事業 ⑬ 部落会等の要望事項支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域振興協議会の運営事業 ② 事務局体制整備事業 ③ 鮭まつり開催事業 ④ 小本まると新鮮市場推進事業（農産物等販売推進部門） ⑤ 小本まると新鮮市場推進事業（観光部門） ⑥ 花いっぱい運動事業 ⑦ 老人クラブ等支援事業（マイナンバーカード作成支援事業） ⑧ 災害時支援体制作り事業 ⑨ 学校支援事業 ⑩ 郷土芸能発表の場の提供事業 ⑪ コミュニティ活性化推進事業

5. 安家地域振興計画

●地域概要

区 分	安家地区	全町に占める割合 (全町)
面 積	211.87 km ²	21.34% (992.92 km ²)
平成 21 年人口	770 人	6.72% (11,462 人)
平成 26 年人口	655 人	6.35% (10,312 人)
令和元年人口	527 人	5.72% (9,216 人)
令和 4 年人口	452 人	5.41% (8,357 人)
対平成 21 年 減少率	△ 41.30%	(△ 27.09%)

※各年人口は、10月1日現在の住民基本台帳人口



●現状と課題

安家地区は、町の北部に位置し、通院通学、買い物など久慈広域圏とのかかわりが深い地域です。また、石灰岩層が広く分布していて、安家洞、氷渡洞をはじめ 100 を超える鍾乳洞群を形成しているとともに、安家川には町指定の天然記念物「カワシンジュガイ」が生息するなどすぐれた自然環境を保っている地域です。

少子高齢化の進行に伴う人口減少が続いていて、教育・歴史・文化の伝承、各種団体の活力維持などの課題を解決する必要があります。農林業などが衰退し、雇用の場が少ないことから、企業誘致の活動を行いながら、マツタケや日本短角種、安家地大根など特産品の有効活用と、山菜、きのこなど自然資源を生かした新たな産業を興し、雇用の場を確保する必要があります。

●地域の目指す将来像（地区の目標）

地域の活性化に向け前進するため、「みんなの力で住みよい安家づくり」を地域目標に、“世界に発信！日本のふるさと安家”を目指します。

●施策の基本方向

- ▶ 1》豊かな資源を活用した活力ある産業の振興
- ▶ 2》安全な食の伝承
- ▶ 3》安心して生活できる地域環境の整備
- ▶ 4》夢を持てる教育と文化の創出・伝承
- ▶ 5》活力あるコミュニティづくり

▶ 6》防災・減災体制の充実強化

●具体化するための取組

1 豊かな資源を活用した活力ある産業の振興

- ・農林水産物を利活用した6次産業化を振興します。
- ・山・川・洞穴など自然環境を生かした産業を振興します。
- ・第三セクター等との連携による雇用の場の創出に取り組みます。
- ・産直施設の整備や活用により、地場産物の商品化に取り組み、生産者の所得向上を図ります。

2 安全な食の伝承

- ・特色ある食文化の伝承に努めます。
- ・安家地大根の栽培普及など地場産物の生産振興と地消地産を推進します。
- ・日本短角種の生産と消費拡大に努めます。

3 安心して生活できる地域環境の整備

- ・生活道などの道路点検を行い、改良整備と継続的な要望活動を行います。
- ・冠婚葬祭事業の簡素化などに取り組みます。
- ・花いっぱい運動や河川清掃、道路の刈り払いなどの環境美化運動を推進します。
- ・高齢者生きがい対策や生活支援に取り組むとともに、地域間連携を強化します。
- ・各関係機関等と連携し、高齢者などの見守りを強化します。
- ・国有林森林パトロール協力員や町の環境巡視員などと連携し、盗伐、盗掘、不法採取、不法投棄を防止して、自然環境を保護します。

4 夢を持てる教育と文化の創出・伝承

- ・特色ある郷土芸能や歴史と文化の伝承活動を支援します。
- ・生涯学習を推進し、各種活動の支援と地域の匠の技の保存伝承に努めます。

5 活力あるコミュニティづくり

- ・各種団体の活動を活発化するため団体相互の連携を強化します。
- ・安家川釣りまつりやあっか感謝祭など各種イベントを開催します。
- ・山小舎を活用し、釣り客、観光客等の交流人口の増加を図ります。

6 防災・減災体制の充実強化

- ・災害情報の収集伝達手段の確保及び防災体制の強化を図ります。
- ・自主防災意識の啓発と組織の育成強化を図ります。
- ・地域コミュニティの防災等講習会の開催や防災訓練を実施します。

■ 取組に当たっての役割分担

協議会	協働
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域振興計画の策定及び見直し ② 各種要望項目の調査研究 ③ 「あっかだより」の発行 ④ 節句食の調査 ⑤ 河川、道路清掃の実施 ⑥ 祭壇の貸出しの実施 ⑦ 生涯学習活動の支援 ⑧ 郷土芸能活動団体の支援 ⑨ 歳末たすけあい芸能祭の支援 ⑩ 各種団体の育成支援 ⑪ 安家川釣りまつりの開催 ⑫ あっか感謝祭の開催 ⑬ 山小舎施設の活用と集客 ⑭ 新年会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域振興協議会の運営事業 ② 農林水産物の栽培支援と加工研究 ③ 安家ブランドの確立と販売推進（産直施設の整備充実、インターネット販売） ④ 名山・洞穴・登山道整備による観光の推進 ⑤ 安家（山・川・洞穴など）マップの活用 ⑥ 企業誘致の要望活動 ⑦ 地産地消の推進（安家地大根・日本短角種など） ⑧ 生活道の点検、整備（危険箇所など） ⑨ 県道の早期改良要望活動 ⑩ 除雪体制の改善要望活動 ⑪ 久慈行タクシー運行事業 ⑫ 水道施設未整備地区の解消 ⑬ 花いっぱい運動 ⑭ 安家川清流化事業 ⑮ 健康増進活動の推進 ⑯ 高齢者生きがい対策及び生活支援 ⑰ 高齢者等交通確保対策事業 ⑱ 地元学学習活動の推進 ⑲ 自主防災組織の充実と訓練の実施

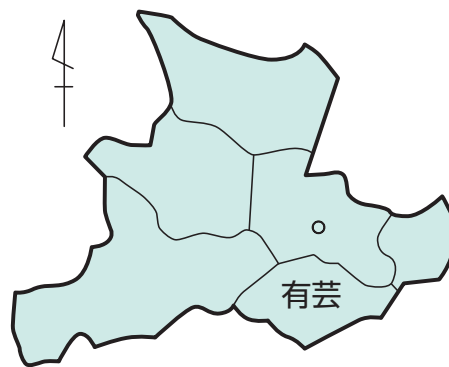


6. 有芸地域振興計画

●地域概要

区 分	有芸地区	全町に占める割合 (全町)
面 積	74.68 km ²	7.52% (992.92 km ²)
平成 21 年人口	255 人	2.22% (11,462 人)
平成 26 年人口	224 人	2.17% (10,312 人)
令和元年人口	201 人	2.18% (9,216 人)
令和 4 年人口	168 人	2.01% (8,357 人)
対平成 21 年 減少率	△ 34.12%	(△ 27.09%)

※各年人口は、10月1日現在の住民基本台帳人口



●現状と課題

有芸地区は、町の南部に位置し、猿沢川流域と撰待川流域の山間地に細長く集落が点在する農林業を中心とした地区です。

地区内の人口は168人、旧町村単位で最も少ない人口となっており、地域内のコミュニティづくりや集落機能を維持して行くうえにおいても、少子高齢化と過疎化による人口減少の進行が最大の課題です。

地区内人口の減少を抑えて、地域を活性化して行くためには、地域産業を振興していく必要があります。このことから、自然条件に適した雑穀や特産林産物などの生産性の向上を図り、産直販売を促進するとともに、農林産物の加工研究や自然資源を生かした新たな産業を興していく必要があります。

また、収穫感謝祭開催を支援するほか、耕作放棄地の利用促進、果樹などの産地化、体験観光型農園の整備など地域特有の取組を通じ、交流人口の拡大を図っていく必要があります。

●地域の目指す将来像（地区の目標）

心身ともに健やかでゆとりと生きがいのある生活が送れるよう「結いの心」を大切にしながら、地域の豊富な資源を生かした「伝統食文化」を伝える長寿の里「うげい」を目指します。

● 施策の基本方向

- ▶ 1》豊富な地域資源を生かした活力ある産業の振興
- ▶ 2》皆が生きがいを持ち安心して暮らせる地域の創造
- ▶ 3》安全で安心な食の伝承
- ▶ 4》香り高い文化と教育活動の推進
- ▶ 5》活力あるコミュニティづくりの推進

● 具体化するための取組**1 豊富な地域資源を生かした活力ある産業の振興**

- ・ 雑穀など、自然食品を利活用した産業の振興に取り組みます。
- ・ 耕作放棄地の有効活用を図り、山菜や農林産物の栽培・加工を研究します。
- ・ 警察や町環境巡視員と連携し、林産物の不法採取防止活動や資源保護に取り組みます。
- ・ 地域特性を生かしたイベントを開催します。

2 皆が生きがいを持ち安心して暮らせる地域の創造

- ・ 県道や生活道など道路、交通体系整備の要望活動を行います。
- ・ 宮古市内の医療機関等への交通手段の確保に努めます。
- ・ 防災体制を整え、自主防災訓練の実施、防災計画の策定などに取り組みます。
- ・ 警察、学校及び地域と連携し、子どもたちの防犯対策を強化するとともに、振込め詐欺や悪徳商法などの被害防止に努めます。
- ・ 高齢者の安否確認や生きがいづくりを推進し、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに努めます。
- ・ 花いっぱい運動や、道路の刈り払い、河川清掃、景勝地の整備など環境美化運動を推進します。

3 安全で安心な食の伝承

- ・ 自然環境を生かした安全で安心な地場産品の生産振興と地産地消を推進します。
- ・ 特用林産物の生産振興に努めます。
- ・ 長寿の里の食文化の伝承と保存に取り組みます。
- ・ 安全で安心な伝統食の継承を推進します。

4 香り高い文化と教育活動の推進

- ・ 「自らの健康は自ら守る」ことを基本に関係機関と連携し健康づくりを推進します。
- ・ 地元学など生涯学習活動支援事業を推進します。
- ・ 教育振興運動や交流事業などの活動を支援します。
- ・ 地域の年間行事等を支援します。

5 活力あるコミュニティづくりの推進

- ・ 部落会や各種団体の活動を活発化するため団体相互の連帯意識を強化します。
- ・ 地域の特性を生かしたイベント開催を支援します。
- ・ 自治会などのコミュニティ活動や要望活動を支援します。

■取組に当たっての役割分担

協議会	協働
<ul style="list-style-type: none"> ① 地域振興協議会の事務局体制整備 ② 地域振興計画の策定及び見直し ③ 各種要望項目の調査研究 ④ 「有芸地域振興協議会だより」の発行 ⑤ 高齢者サポート事業 ⑥ 高齢者生きがい支援事業 ⑦ 県道有芸田老線（栃の木～末前峠間）の草刈事業 ⑧ 教育振興運動の活動支援 ⑨ 新年交賀会の開催 ⑩ 各種イベントの支援 ⑪ 部落会要望事項の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域振興協議会の運営事業 ② 雑穀、自然食品の産直販売促進調査及び研究 ③ 遊休地再生及び雑穀生産奨励事業 ④ 農林産物資源加工研究事業（有芸ブランドの確立と販売推進） ⑤ 特用林産物の資源保護、増殖事業 ⑥ 道路・交通体系等の整備要望活動 ⑦ すずらんバス運行事業 ⑧ 防災体制整備事業（自主防災訓練の実施と防災計画の策定、見直し） ⑨ 地域防犯活動 ⑩ 高齢者見守り等生活安全対策事業 ⑪ 高齢者世帯（独居含む）除雪支援事業 ⑫ 花いっぱい運動推進事業 ⑬ 摂待川エコミュージアム事業 ⑭ 皆の川大滝環境整備事業 ⑮ 長寿の里推進事業 ⑯ 地区民運動会開催支援 ⑰ 生涯学習（地元学）活動の支援事業 ⑱ 交流・講演会開催支援 ⑲ コミュニティ活動費補助金交付事業

